TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

イエス・キリストの即位 深い後悔

マタイによる福音書 27:1-10

2024年6月22日 & 23日
余沢 武 牧師

I. はじめに

こんにちは。イエスが逮捕された後、大祭司の屋敷に連れていかれ裁判にかけられたことを見てきました。大祭司はイエスに、生ける神に誓ってイエスが神の子メシアであるのか言え、と迫りました。
イエスはそれを認め、いずれ父なる神とともに世を治めると皆に告げました。そして、冒涜の罪で死刑を宣告されました。

今日は、ユダの反応と、真の悔い改めとは何かを考えていきましょう。まず、祈りましょう。

II. 後悔

(1) 祭司長と長老たち

ではマタイ 27:1-2 を開きましょう。「[1] 夜が明けると、祭司長たちと民の長老たち一同は、イエスを殺すために協議した。 [2] そして、イエスを縛って連れ出し、総督ピラトに引き渡した。」

「夜明け」つまり「朝」が来て、彼らはイエスを死刑執行の責任者である、ピラトに引き渡しました。

3-7節「[3] その頃、イエスを裏切ったユダは、イエスに有罪の判決が下ったのを知って後悔し、銀貨三十枚を祭司長たちや長老たちに返そうとして、 [4]「私は罪のない人の血を売り渡し、罪を犯しました」と言った。しかし彼らは、「我々の知ったことではない。お前の問題だ」と言った。 [5] それで、ユダは銀貨を神殿に投げ込んでそこを離れ、出て行って、首をくくった。 [6] 祭司長たちは銀貨を拾い上げて、「これは血の代価だから、神殿の金庫に入れるわけにはいかない」と言い、 [7] 相談のうえ、その金で「陶工の畑」を買い、見知らぬ人のための墓地にすることにした。」

ユダはイエスが死刑宣告を受けるのを知って、「後悔」し「銀貨三十枚」を「祭司長たちや長老たち」に返しました。ユダが「私は罪のない人の血を売り渡し、罪を犯しました。」というと、彼らの答えは「我々の知ったことではない。」でした。ユダは銀貨を神殿に投げこみました。 祭司長たちは銀貨を「血の代償」と言って「墓地」のための「畑」を買いました。

ここで、「ユダヤ人権力者」と「ユダ」の根本的な問題が見えてきます。
まず、「ユダヤ人権力者」の「祭司長たちと長老たち」について考えてみましょう。彼らが自分たちの罪にいかに盲目だったかがわかります。イエスが死刑を宣告されたのを知って、ユダは後悔して「銀貨三十枚」を彼らに返しました。

彼らがそれを「血の代償」と言ったのは、罪のない人を裏切って得たものだからです。神への捧げものとして受け取るには相応しくないと考えました。そこで陶工の畑の購入に使って、そこを見知らぬ人用の「墓地」にしました。明らかに、彼らは良いことをしたと思っていました。

私が台湾にいた7歳か8歳の頃、両親が小銭を入れていた引き出しからお金をとってものすごく怒られたことがあります。ある日、学校に行く前にそこからお金をとって、休み時間にお菓子を買おうと思いました。そして、お金をとってポケットに入れました。

学校に着くと、正門の横に盲目の物乞いが座っていて、子供たちにお金をねだっていました。私はかわいそうに思い、ポケットに手を入れて持っていたお金を取り出し、その人の缶に入れました、それはお菓子を買うお金だったにもかかわらず、です。

でも、私は自分が正しいことをした、と思いました。とてもいい気分になりました。

しかしもちろん、私のしたことは何も良いことではありません。私はただの泥棒でした。自分のお金ではなかったですし。後でお金を取ったことが両親にばれて、ものすごく怒られました。二度と人から盗まないと学びました。

しかし、祭司長たちや長老たちにはこのような態度が見えます。彼らは、「血の代償」を捧げずに、見知らぬ人の墓地の購入に汚れた金を使って、神を敬っているつもりになっていました。でも、真実はこうです：「神の捧げ物」から金を盗み、イエスを殺すためにユダにその金を渡した。「神のお金」を「血の代償」にしたのは、彼らです。事実、ここでの記述が時系列順だとすると、イエスはまだ十字架につけられていません。彼らはイエスを釈放できたのです。そうすれば、その金は「血の代償」にはならなかったのです.

ところが、何よりも恐ろしいのは、彼らは、悔い改めた罪人を神のもとに回復させる役目にあった祭司たちであったということであり、そしてユダが自分の罪を告白した時でさえ、彼らは「我々の知ったことではない。」つまり「我々には関係ない」という感じでした。

いや、それは彼らに関係あります。しかし、ユダに対して神殿の扉を閉ざしたために、ユダは自分で自分を裁き、自ら命を絶つことになりました。それでもなお、彼らは自分たち自身がどれほど罪深いかを知ることはできませんでした。

彼らのような人々、自分自身の罪---不道徳の罪、怒り、赦せない心、高慢、偶像崇拝、または金銭欲など----が見えない人の霊は最悪の状態です。

神はこのあと何が起こるかご存じです。8-10 節です。「[8] それで、この畑は今日まで「血の畑」と呼ばれている。 [9] こうして、預言者エレミヤを通して言われていたことが実現した。「彼らは銀貨三十枚を取った。それは、値踏みされた者の価、イスラエルの子らが値踏みした者の価である。 [10] 主が私にお命じになったように、彼らはこの金で陶工の畑を買い取った。」」

(2) ユダの応答

では、ユダのように罪を後悔している人はどうでしょう？ 聖書はこう語っています。
ユダは「後悔」しました。ユダは「銀貨三十枚を返そうと」しました。ユダは罪を告白しました。「私は罪のない人の血を売り渡し、罪を犯しました」

悔い改めのように聞こえます。しかし、イエスは**マタイ 26:24** でこう言いました。**「だが、人の子を裏切る者に災いあれ。生まれなかったほうが、その者のためによかった。」** なぜでしょう？

パウロは後悔つまり深い悲しみには二種類あると言います。 **2 コリント 7:9-10「 [9] 今は喜んでいます。あなたがたが悲しんだからではなく、悲しんで悔い改めたからです。あなたがたが悲しんだのは神の御心に適ったことであって、私たちからは何の害も受けなかったのです。 [10] 神の御心に適った悲しみは、悔いのない、救いに至る悔い改めを生じさせ、この世の悲しみは死をもたらします。」**

パウロによると、「深い悲しみ」は二種類あって---「神の御心に敵った悲しみ」は「悔い改め」と「救済への導き」を生みだします。そして「この世の悲しみ」は「死」を生み出します。

これらはどう違うのでしょう？ 私は、聖書解説者のダグラス・オドネル博士の説が気に入っています。彼は、ユダは「半分悔い改めた」と言っています。「ユダは間違った方へ行く列車に乗った。しかし、彼がやったのはそれだけだった。彼は、次に正しい方に向かう別の列車に乗る必要があった。」

「神の御心に敵った悲しみは、救いに至る悔い改めを生み出す」—— ただの悔い改めは、人が間違った行動を取ることは止めますが、しかし罪深い欲求の支配に対応はできず、人は変わらず、次の誘惑におちいることを待つのです。

しかし本物の悔い改めは、ただ人が間違った行動を取ることを止めるだけではありません。罪深い欲求の支配に対応し、悔い改めと神の御意思を追求したいという願望を通して、浄化される必要があるのです。ユダの悲しみ、悔い改めに欠けていたのはこの点でした。

私たちが犯しがちな間違いがあります。
不道徳な習慣にとらわれると、悔い改めと純粋な神聖への願望を通じた浄化による、罪深い欲求の支配への対応はせず、私たちはただその習慣を止めようとします。だから、私たちはそのまま変わらないのです。

怒りに囚われると、悔い改めと純粋な神の謙虚さと赦す性質への願望を通じた浄化による、罪深い欲求の支配への対応はせず、私たちはただ怒るのを止めようとします。だから、私たちはそのまま変わらないのです。

ユダは金銭欲の罪に囚われた時、ただそれを止めようとだけしました。悔い改めと純粋な神聖と神の備えへの願望を通じた浄化による、罪深い欲求の支配への対応はありませんでした。

罪深い欲求の支配への対応の代わりに、そして神を追求するという望みの代わりに、第６の戒め「人を殺してはならない」に背き、ユダは自分を殺すことで自分の罪を消そうと試み、結局自分の罪をさらに増やしました。

これがユダとペトロの違いです。罪を犯したと気が付いた時、ペトロも後悔しました。聖書にはこうあります「そして外に出て、激しく泣いた。」

ペトロは自分の罪は自分の意志によるものではないことを知っていて、それは彼の制御を超えた罪深い欲求の支配によるものであり、悔い改めと神の御意思に従うという願望を通じた浄化が必要でした。

イエスは別の方向へ私たちを連れて行く列車なのです。私たちがイエスの御前で悔い改める時、イエスは私たちの罪のために死なれたので、私たちを浄化することが出来ます。

イエスは私たちの罪深い欲求を、聖霊を通じて神に従おうとする欲求に代えることが出来ます。イエスを通して、ペテロは変えられました。ペテロはどのように自分たちも変えられたか、他の人に伝え始めました。

（3） まとめ

では、不道徳な考え、怒り、赦せない心、偶像崇拝、また金銭欲など、私たちが苦しんでいる罪をどう扱えばいいのでしょう。

すべて無視しますか？　祭司長たちや長老たちのように。いいえ。

それらを止めようとして、自分自身を罰しますか？　ユダのように。いいえ。

私たちはイエスのもとに行きます。そしてイエスに、私たちを浄化し、私たちの罪深い欲求を、神の御意思を追求する望みと置き換えてくださるよう頼むのです。

うちの子供たちがまだ小さかった時、たまたまうっかり何かを壊した時、それを私たちに隠していました。でも、しばらくすると、子供たちは隠し通せないということが分かり、私たちのところきて罪を告白し、赦しを請いました。

それは子育ての最高の瞬間でした。子供たちの中に悔い改める心があるだけでなく、二人が本当に私たちを愛し、私たちと一緒に正しくなりたいと思っているとわかったからです。そんなときはいつも、笑顔で彼らを赦し、正しい行いをするよう励ましました。私たちが悔い改めの心で、イエスのもとに向かう時、イエスは私たちを同じようにして受け入れてくれます。

もしあなたがご自身を罪人だと知っていたら、あなたは後悔します。自分自身を罰したかもしれません。イエスはあなたのために来られて、十字架の上で死なれたのです。イエスのもとに来て、赦しを請うことを勧めます。そして、イエスにあなたを変えてもらいましょう。今日、イエスを救い主として迎え入れましょう。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書　協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg2624jp

★クラス 101
教会員になるためのクラス
9月8日（土）1:00pm - 5:00pm
参加条件: どなたでも

https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1. 日本語字幕オペレーター

月 1～各礼拝の時間の日本語字幕のページを矢印キーで押していく作業。コンピュータースキルはいりません。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

2. 日本語訳字幕作成

月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
Mac でプロプレゼンターというソフトで作成しますが、1，2 回のトレーニングで簡単に覚えられます。作成後、土曜日 19 時の礼拝の日本語訳字幕オペレーターもお願いしています。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

3. 週末礼拝メッセージ翻訳

1 か月半に 1 度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語のメッセージ原稿を日本語に翻訳します。
スキル：英語と日本語が堪能な方

4. 日本語訳レイアウト&印刷（女性募集）

月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
MS Word を使用してひな形に入れてレイアウトし印刷します。
スキル：MS Word の簡単な操作ができる方。英語のスキルは必要ありません。

*TBC の教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org